

備前市事務事業評価表

(平成18年度事業)

事務事業名	交通安全啓発事業	コード	01-04-01-01
		担当課・係	市民課・生活安全係
		担当者	芳田 猛
事業実施期間	昭和46年度～		
		電話	0869-64-1876
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	安全で安心して暮らせるまちづくり	
	小項目(施策)	交通安全	

事業について	
目的 (何のために)	正しい交通ルールの実践と交通マナーの向上による交通事故防止のため、交通安全意識の高揚を図る。
対象 (誰・何を対象に)	子ども及び高齢者を重点的に、道路を通行する歩行者
内容	交通安全啓発並びに、幼児から高齢者まで、年齢の段階に応じた交通安全教育を推進

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
街頭啓発活動	23 回	24 回	
交通安全教室	25 回	28 回	
交通安全教室参加者	1,671 人	1,792 人	
法令講習会参加者	110 人	258 人	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	862	国庫補助金等		直接事業費	734	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	7,539	受益者負担		人件費	7,603	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	8,401	市債	8,401	合計	8,337	市債	8,337	合計	0	市債	0

必要人員	0.88 人	0.92 人		
結果指標	結果指標名	街頭啓発活動	街頭啓発活動	
	結果指標量	23	24	
	単位	回	回	
	対前年比	-	104.35%	0.00%
	活動にかかるコスト	2,651,978 円	3,505,076 円	
	単位当たりコスト	115,303 円	146,045 円	
結果指標	結果指標名	交通安全教室	交通安全教室	
	結果指標量	25	28	
	単位	回	回	
	対前年比	-	112.00%	0.00%
	活動にかかるコスト	4,598,400 円	3,221,084 円	
	単位当たりコスト	183,936 円	115,039 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	高齢者の交通事故件数割合が高いため、高齢者の交通安全意識の高揚		
成果指標名	交通安全教室高齢者受講割合	式又は説明	(交通安全教室高齢者参加者/交通安全教室参加者) × 100
	17年度	18年度	
成果指標量	2	14	
対前年比	-	700.00%	0.00%
到達目標値	20	到達目標年度	平成23年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等: 交通安全対策基本法
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

妥当性評価 < A ~ E > A

効率性評価 < A ~ E > A

有効性評価 < A ~ E > B

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 25	結果指標量 29

総合評価	交通事故防止の直接効果を求めることは困難であるが、市民の交通安全意識の高揚には不可欠であり、引き続き実施すべき事業である。	評価区分 < A ~ E > A
------	---	------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	--

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果